

科名 血液内科
 対象疾患名 再発、又は難治性のCLL
 プロトコール名 マブキャンパス(30mg)

Rp	形態	ルート	薬品名	投与量	時刻・コメント	1	2	3	4	5	6	7
1	点滴注	メイン	生食	500mL	ルートキープ 残破棄可	↓		↓		↓		
2	点滴注	側管	グラニセトロンバッグ	1mg	30分かけて	↓		↓		↓		
3	点滴注	側管	マブキャンパス	30mg/body	2時間以上かけて	↓		↓		↓		
			生理食塩液	100mL	週3回隔日投与 25mL/1hr→50mL/hr ホラミン、アセアミノフェンを 投与30分前に内服							

1クール=7日

～MEMO～

- ・催吐レベル3(30%以上90%未満)
- ・投与期間は漸増期間も含め最長12週間までとする。
- ・infusion reaction予防のため、マブキャンパス投与30分前に、抗ヒスタミン薬(ホラミン)と解熱鎮痛剤(アセアミノフェン)を投与すること。
- ・Gr3以上のinfusion reactionが、十分に予防ま又は軽減されない場合、必要に応じて副腎皮質ステロイド(ソル・コステフ 200mg)を使用する。
- ・Gr3以上のinfusion reaction発現が認められない場合、次回投与量を増量可能。
(3mg/day→10mg/day、 10mg/day→30mg/day)
- ・副作用のため休薬した場合、休薬期間が7日間以上であれば、再開時の投与量は3mg/bodyからとする。

